

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和6年度 第3回 岩倉市自転車活用推進計画検討委員会
開催日時	令和7年3月19日（水） 午後2時00分から午後3時45分まで
開催場所	岩倉市役所 7階 大会議室
出席者 （欠席委員・説明者）	出席委員：嶋田委員（会長）、平塚委員、祖父江委員（代理：内藤課長補佐）、杉渕委員、木村雄二委員、渡辺委員、樋村委員、木村さや香委員、西村委員、竹井委員、竹安委員 欠席：牧委員（副会長）、山下委員 事務局：都市整備課長、整備グループ長、整備グループ主査（株）オリエンタルコンサルタンツ3名
会議の議題	（１）パブリックコメントの実施結果について （２）答申書（案）について
議事録の作成方法	■要点筆記 □全文記録 □その他
記載内容の確認方法	■会議の委員長の確認を得ている □出席した委員全員の確認を得ている □その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料1 ： パブリックコメント実施結果について 資料2 ： 答申書（案）
公開・非公開の別	■公開 □非公開
傍聴者数	なし
その他の事項	

検討内容（発言者、発言内容、検討経過、結論等）

1 開会

2 議題

（１）パブリックコメントの実施結果について

事務局：資料１について説明

会 長：No.12 の意見にある「道路交通法改正のポイントを重点的に」とは具体的にどう
いうことか。

事務局：計画を策定したということとあわせて、道路交通法が改正された内容についても
広報に載せたらどうかという意見と捉えている。まずは計画を策定したことを公
表し、道路交通法改正のポイントについても広報の方法を検討していきたい。

会 長：パブリックコメントの結果を受けて修正する箇所はないということによいか。

事務局：パブリックコメントを受けての修正はないが、全体的に体裁を整えている。

委 員：再整備された岩倉駅東口のロータリーの北側は一方通行から両側通行となった。
南側は今後も一方通行だと思うが、東側の住宅地の方は道路の拡幅など再開発の
予定はあるか。

事務局：現在は桜通線の整備を進めており、東側から順に整備を進めている。岩倉駅周辺
は、市の中心部であり都市計画マスタープランにおいても、まちのにぎわいや活
力の創出を記載しているため、再整備を進めていきたいと考えている。

会 長：指摘のあった箇所（桜通線）は自転車ネットワーク路線に含まれているか。

事務局：第２回の本委員会での指摘を踏まえて自転車ネットワーク路線に桜通線を追加し
ている。

委 員：No.5 の意見にある一方通行の促進とは、自動車の進入を防ぐことが目的なのか、
自転車の通行空間を確保することが目的なのか、どのような考え方なのか。

事務局：一方通行は生活道路の抜け道利用を防ぐひとつの手段だとは思いますが、自転車の出
会い頭事故が増えることも考えられるため、必要に応じて対応していきたい。

委 員：右側通行する自転車の出会い頭事故が多いため、自転車ネットワーク計画はその
ような実態も考慮して作成してほしい。

事務局：自転車活用推進計画を今後見直していく際に参考としたい。

委 員：自転車は右側通行してはいけないということを広報してほしい。

会 長：自転車の左側通行についてはピクトグラム等で啓発するというのもよいと思う。

委 員：No.13 の駐輪場の有料化について反対との意見に対し、市が管理する自転車駐車
場の有料化は予定していないと回答がある。資料２の P.31 の自転車駐車場の写真
には券売機が映っているため、市の自転車駐車場が有料であるとの誤解が生じる
ように思う。

事務局：写真の自転車駐車場は、岩倉市が場所を提供して管理は財団法人が行っている。
パブリックコメントへの回答を修正する。

会 長：名古屋市では、管理者において自転車駐車を有料としている。岩倉市においても、最初は無料でもよいが、将来的には有料とすることも考えた方がよい。

委 員：自転車を大切にしている方は、有料の自転車駐車場も利用している。現在は有料化の予定はないが、将来的な有料化も検討していきたい。

会 長：パブリックコメントに対する市の考え方の内容について承認する。

（２）答申書（案）について

事務局：資料２の答申書（案）について説明

委 員：P.21,22 の中高生の自転車の利用ルールの順守率について、「酒気を帯びて自転車を運転してはいけない」の項目については掲載しなくてもよいのではないかな。

会 長：掲載しないことでよいと思う。

事務局：掲載しないこととする。

委 員：P.38 のレンタサイクルの利用経路は、自転車で走るのに安全な経路なのか。

事務局：全ての経路が安全であるとは言えないが、自転車利用が多い路線については自転車ネットワーク路線の選定時に考慮しているため、今後自転車通行空間の整備を進めていきたい。

委 員：P.38 の豊橋市の観光サイクリングマップは観光地を１周するルート設定となっているが、岩倉市ではどのようなサイクリングマップを作成するのか。

事務局：豊橋市はひとつの例として記載している。市内を１周するようなルート設定がよいと思うが、安全性等も考慮しながら関係機関や担当課と今後検討していきたい。

委 員：他の自治体でサイクリングマップを作成した際は、ルートは指定せずに走りやすい道や走りにくい道を地図上に示すという方法をとっている事例もある。

会 長：一部修正内容も含め、この内容で市長に答申することとする。

３ 答申

- ・会長より市長へ答申
- ・市長あいさつ
- ・会長あいさつ

４ 閉会

事務局：計画については今後定期的にフォローアップを行っていく予定である。その際にご協力を賜りたい。